

# 考古学研究室報告

## 第 37 集

- I ナガラ原東貝塚 4
- II 大久保貝塚  
2001年度考古学研究室の足跡

2 0 0 2

熊本大学文学部考古学研究室

— 表紙写真 —

(表) 調査風景 (遺跡東側から)

(裏) 現地説明会風景

## 序 文

1972年4月、熊本大学法文学部国史B研究室として出発した考古学研究室は、爾来30年にわたって考古学実習を中心として実践的な教育研究を心がけて研究室の活動を行ってきた。その集積が『考古学研究室報告』である。これまで、途切れることなく考古学実習とその発掘報告を出版し、今年度で第37集を発行することができたことはこの上ない慶びであり、他の大学研究室と比べていささかの遜色もない研究教育活動を物語るものと言えよう。

今年度研究室は、熊本県阿蘇郡一の宮町象ヶ鼻D遺跡、沖縄県国頭郡伊江村ナガラ原東貝塚、それに長崎県壱岐郡石田町大久保貝塚と3ヶ所の発掘調査を行なった。象ヶ鼻D遺跡の調査は小畑弘己助教授の指導でなされ、「ガラス質溶結凝灰岩」製の石材供給地の露頭を発見し、旧石器時代の石材供給範囲の研究に貴重な資料を提供することができた。大久保貝塚とナガラ原東貝塚の調査はそれぞれ甲元眞之と木下尚子教授を代表とする文部科学省の「科学研究費」による調査研究である。これらプロジェクトは、自然科学分野の研究との共同調査が主眼であり、成果の一端はこの報文中に示されている。

教官と学生はこの3ヶ所の遺跡だけでなく、九州島のみならず、石川県真脇遺跡など全国各地の代表的な遺跡の調査に随時参加するなど活動領域が大幅に広がってきたことは極めて喜ばしいことであり、さらには韓国へも積極的に出かけることが始まったことは、広い視野から研究を進める点においてこの上なく好ましいことである。来年度からは研究室の教官を主体としてロシアでの発掘調査が始まり、大学院の博士課程の設置も予定されている。これで「多様な観点から東アジア的視野で対象を分析する」という研究室創設当時の目標がようやくかなうこととなり、今後の一層の飛躍が期待されるところである。

その一方で、発掘とその整理という実習期間を通して、これに積極的に参画しようとする学生とお付き合いで参加したり、中には途中で与えられた責任を放擲する学生の二分化現象が顕在化してきたことは、差し迫った現実として、我々教官の指導を含めて自戒しなければならないことである。

甲元 眞之

# I ナガラ原東貝塚 4

## 例 言

- 本編は熊本大学文学部考古学研究室による沖縄県国頭郡伊江村字川平1061-1・1062-1・1071-1番地所在のナガラ原東貝塚の発掘調査報告である。
- 発掘は実習調査として研究室が起案し、伊江村教育委員会・沖縄県教育庁文化課の協力を得て実施された。
- 調査は2001年7月16日から7月27日までの12日間実施した。
- 調査参加者・整理作業者は以下の通りである。  
甲元眞之 木下尚子 杉井健（以上教官）  
呉判錫 緒方智子 河合章行 木村龍生 竹中克繁（以上大学院1年生）  
安部茂明 江頭俊介 芝康次郎 西嶋剛広 前田耕輔 松本周作 村田勉（以上学部3年生）  
上野平優紀 仙波靖子 中里陽道 中田伸一 仲矢咲紀 前田知聖 村上彩 望月大輔 森幸一郎  
安元香名美（以上学部2年生）  
橋本麻子（明治大学卒業生）  
名島弥生（慶応義塾大学大学院）
- 脊椎動物、軟体動物、植物遺体の鑑定、分析については順に早稲田大学樋泉岳二、千葉県立中央博物館黒住耐二、札幌大学高宮広土の各先生にお願いした。江頭俊介担当の魚骨の鑑定指導は早稲田大学樋泉岳二先生にお願いした。
- 石材および鉱物の鑑定は元熊本大学理学部松本幡郎先生にお願いした。
- ヨコシマクロガイについては沖縄県水産試験場太田格氏にご教示いただいた。
- 鉄器については愛媛大学村上恭通先生にご教示を受けた。また、鉄器の保存処理は九州歴史資料館横田義章、宮小路賀宏両氏のご厚意により実施された。
- 鉄器の実測は、菊池義明（学部4年生）が行なった。
- 調査期間中、沖縄県公文書館資料編纂室安里嗣淳氏、岸本義彦氏をはじめとする沖縄後期土器研究会の方々にご指導を受けた。
- 調査期間中、以下の方々にご協力いただいた。  
安里誠夫 玉城恵一 蔵下耕作 内間優 島袋裕次 古堅武守（敬称略）
- 本編におけるレベル高はすべて海拔をあらわし、方位は真北をあらわす。
- 本編の挿図と図版の遺物番号は対応する。
- 本編の編集は木村が行ない、執筆分担については執筆者名を各文末に示した。

## 本文目次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 一 位置と環境                             | 1  |
| 二 調査の経過                             | 2  |
| 三 調査の成果                             | 4  |
| 1. 層序                               | 4  |
| 2. 遺物の出土状況                          | 6  |
| 3. 貝塚の形成                            | 8  |
| 4. 出土遺物                             | 10 |
| (1) 土器                              | 10 |
| (2) 石器                              | 17 |
| (3) 貝製品                             | 21 |
| (4) 自然遺物                            | 26 |
| (5) 鉄器                              | 33 |
| 四 自然科学的分析                           | 36 |
| 1. 沖縄貝塚時代後期遺跡における小形貝類「廃棄単位」の検討      | 36 |
| 2. ナガラ原東貝塚の水洗選別試料より検出された脊椎動物遺体（第4報） | 43 |
| 3. ナガラ原東貝塚出土の植物遺体（2001年度）           | 46 |
| 五 まとめ                               | 52 |

## 挿図目次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 第1図 伊江島の遺跡分布図                  | 1  |
| 第2図 遺跡周辺地形図および調査区位置図           | 2  |
| 第3図 調査区平面図                     | 3  |
| 第4図 コラムサンプリング位置図               | 3  |
| 第5図 土層断面図                      | 5  |
| 第6図 遺物出土地点平面および垂直分布図           | 7  |
| 第7図 IV下層の貝殻出土位置図               | 9  |
| 第8図 土器実測図（1）                   | 12 |
| 第9図 土器実測図（2）                   | 13 |
| 第10図 沖縄貝塚時代後期における列点文をもつ土器の比較   | 16 |
| 第11図 各遺跡における列点文をもつ土器の口唇部刻目の有無  | 16 |
| 第12図 石器実測図                     | 18 |
| 第13図 各時期および本遺跡IV層の植物質食料加工具組成割合 | 19 |
| 第14図 ナガラ原東貝塚出土有孔貝製品重量分布        | 21 |
| 第15図 貝製品実測図（1）                 | 22 |
| 第16図 貝製品実測図（2）                 | 23 |
| 第17図 ナガラ原東貝塚皿状貝製品容量分布          | 25 |
| 第18図 阿良貝塚皿状貝製品容量分布             | 25 |
| 第19図 貝類組成図                     | 27 |
| 第20図 貝類生息域組成図                  | 27 |

|      |                                   |    |
|------|-----------------------------------|----|
| 第21図 | シャコガイ科殻長組成図                       | 28 |
| 第22図 | シラナミ・ヒメジャコ破損状況                    | 28 |
| 第23図 | 合弁貝破損状況                           | 28 |
| 第24図 | シラナミ破損状況                          | 28 |
| 第25図 | シャコガイ科部位分類図                       | 28 |
| 第26図 | シラナミ・ヒメジャコ合弁貝殻長組成図                | 29 |
| 第27図 | 尖頭状扁平鉄器                           | 33 |
| 第28図 | 琉球列島における貝塚時代出土の鉄器および製鉄関連遺物出土遺跡分布図 | 35 |
| 第29図 | サンプリング位置図                         | 47 |
| 第30図 | ナガラ原東貝塚出土の植物遺体（2001年度）            | 51 |

## 表目次

|      |   |       |
|------|---|-------|
| 第1表  | 土器観察表   | 14    |
| 第2表  | 土器分類・集計表  | 14    |
| 第3表  | 石器計測値一覧表  | 17    |
| 第4表  | 植物質食料加工具石器時期別出土量  | 20    |
| 第5表  | 植物質食料加工具石器出土遺跡一覧表                                       | 20    |
| 第6表  | 有孔貝製品計測値一覧表   | 23    |
| 第7表  | 皿状貝製品計測値一覧表   | 24    |
| 第8表  | 貝類遺体集計表   | 27    |
| 第9表  | 出土動物名および重量・骨片数  | 29    |
| 第10表 | 部位ごとの計測値および出土位置一覧表                                      | 31    |
| 第11表 | ナガラ原東貝塚出土イノシシ最小個体数                                      | 32    |
| 第12表 | 琉球列島における貝塚時代出土の鉄器および製鉄関連遺物出土遺跡一覧表                       | 35    |
| 第13表 | 伊江島ナガラ原東貝塚から得られた貝類遺体                                    | 40-42 |
| 第14表 | ナガラ原東貝塚での土壌量とミドリアオリ個体数の関係                               | 42    |
| 第15表 | ナガラ原東貝塚2001年度調査で採取した脊椎動物遺体分析用試料                         | 44    |
| 第16表 | ナガラ原東貝塚2001年度脊椎動物遺体分析用試料（TT01A）の構成要素                    | 44    |
| 第17表 | ナガラ原東貝塚1998～2001年度採取試料（IV層）における魚骨・獣骨・貝殻の<br>包含密度と焼骨率の比較 | 44    |
| 第18表 | ナガラ原東貝塚 TT01A（IV層）より検出された脊椎動物遺体                         | 45    |
| 第19表 | ナガラ原東貝塚 TT01A（IV層）における脊椎動物遺体の組成                         | 45    |
| 第20表 | 各調査区から得られた植物遺体  | 50    |
| 第21表 | 2001年度出土の植物遺体   | 51    |
| 第22表 | 植物遺体およびイネの分布密度  | 51    |

## 図版目次

|        |              |        |          |
|--------|--------------|--------|----------|
| 図版 1 上 | ナガラ原東貝塚近景    | 図版 4   | 土器 (2)   |
| 中      | 北 2 東 1 グリッド | 図版 5 上 | 石器       |
|        | IV下層検出状況     | 下      | 貝製品 (1)  |
| 下      | 第 2 東トレンチ    | 図版 6   | 貝製品 (2)  |
|        | ゴホウラ加工品出土状況  | 図版 7   | 貝類遺体 (1) |
| 図版 2 上 | 第 2 東トレンチ    | 図版 8 上 | 貝類遺体 (2) |
|        | 土層堆積状況       | 中      | 脊椎動物遺体   |
| 中      | 第 2 東トレンチ    |        | 魚骨       |
|        | 完堀状況         | 下      | 脊椎動物遺体   |
| 下      | 調査終了時遺跡近景    |        | イノシシ骨    |
| 図版 3   | 土器 (1)       |        |          |